

教員詳細情報

氏名	徳富 芳子
連絡先メールアドレス	y-tokutomi@kyushu-ns.ac.jp
役職・職名	教授
所属	看護福祉学部 看護学科、看護福祉学研究科 看護学専攻
略歴	<p>学歴：熊本大学薬学部卒業 熊本大学大学院薬学研究科修士課程（薬剤学専攻）修了</p> <p>職歴：(社)鹿児島県薬剤師会試験センター (株)仙北薬品 管理薬剤師（調剤薬局） 熊本大学医学部（薬理学第二講座、生体機能薬理学講座）助手 熊本大学医学部（生体機能薬理学講座）助教 尚綱大学生活科学部 教授 九州看護福祉大学看護学科 教授</p>
取得学位	博士（医学）（熊本大学）
担当科目	<p>学部：薬理学、感染症学、病態生理学Ⅰ、医用工学、生体機能・形態演習、卒業研究、卒業研究論文、女性医療学(助産学専攻科)</p> <p>大学院：看護病態機能学特論、看護病態機能学演習、看護病態機能学研究</p>
専門分野	薬理学、生理学
所属学会	日本薬理学会
現在の研究テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ・脂肪細胞機能制御因子を標的としたメタボリックシンドローム予防に有効なポリフェノール類の探索 ・看護学と薬理学の横断的研究（基礎と臨床の双方向から課題をとらえ、追究し、看護ケアに還元することを目指す）
教育研究業績 (著書・学術論文等)	<p>主な著書：Gastrointestinal function -Regulation and Disturbances-（共著） Excerpta Medica.14: 27-43（1996）</p> <p>主な学術論文（査読付）：① Vascular responses to 8-nitro-cyclic GMP in nondiabetic and diabetic mice.（筆頭著者）<i>British Journal of Pharmacology</i> 162:1884-93（2011） ② Protein S-guanylation by the biological signal 8-nitroguanosine 3',5'-cyclic monophosphate.（Sawa, <i>et al.</i>12人中5番目）<i>Nature Chemical Biology</i> 3(11):727-35（2007） ③ Oxidation of Prx2 and phosphorylation of GRP58 by angiotensin II in human coronary smooth muscle cells identified by 2D-DIGE analysis.（筆頭著者）<i>Biochemical and Biophysical Research Communications</i> 364(4):822-30（2007） ④ Effects of alpha1-acid glycoprotein on isometric tension of mouse aorta.（筆頭著者）<i>European Journal of Pharmacology</i> 477(2):137-41（2003） ⑤ The properties of ryanodine-sensitive Ca²⁺ release in mouse gastric smooth muscle cells.（筆頭著者）<i>British Journal of Pharmacology</i> 133(1):125-37（2001）</p> <p>主な科学研究費（代表）：①基盤研究（C）「脂肪細胞機能制御因子を標的とした食品機能性成分によるメタボリック症候群予防の検討」（2022-24年） ②基盤研究（C）「糖・脂質代謝異常症の危険因子に対するポリフェノールの作用機序解明と予防への応用」（2015-17年） ③基盤研究（C）「心血管系におけるニトロ化環状グアノシン酸の機能解析と創薬への応用」（2008-10年） ④基盤研究（C）「平滑筋臓器の機能分化と病態生理におけるc-kitの役割」（2001-03年）</p>
社会活動・社会貢献	熊本県薬事審議会委員（2022年10月-2025年9月）